

## 抗菌薬腎機能別投与法一覧を改訂しました

### <改訂のポイント>

#### その1 腎機能に合わせた投与

多くの抗菌薬は腎排泄型であり、腎機能に応じた減量や投与間隔の延長が必要となります。ただし、重症感染症時には、腎機能によらず、最大投与量、最小投与間隔で開始することを推奨します。その後の臨床経過や腎機能に応じて調整を考慮してください。

痩せた高齢者など筋肉量の少ない患者の eGFR は CCr より高く推算されるため注意が必要です。また、Cr が 0.6mg/dL 未満の場合、0.6mg/dL に補正して CCr を算出する (ラウンドアップ法) と過量投与を防ぐことができます。肥満患者では、実体重で CCr を算出すると過大評価となるため、薬剤によっては補正体重や理想体重を利用することがあります。

#### その2 抗緑膿菌活性

抗緑膿菌活性の有無がわかるように表記しました。耐性化を防ぐためにも、緑膿菌をターゲットとしない場合には、それらの薬の使用は、極力控えてください。

#### その3 溶解方法

糖液と配合すると力価が低下する薬剤があります。たとえば、アンピシリンはブドウ糖液で溶解すると、酸化還元反応により分解し、力価が低下します。5%ブドウ糖溶解後のアンピシリンの力価残存率は、3時間で85%、6時間74%(Meiji Seika ファルマ/インタビューフォームより) よって、ブドウ糖ではなく、生理食塩水で溶解してください。一覧表では、推奨しない溶解液は×と表記しています。

#### その4 薬価

抗菌薬の値段がわかるよう薬価を表記しました。例えば、同じ抗MRSA薬でもバンコマイシンは、1g 2本で1,922円ですが、キュビシンは13,776円と7倍高いです。また、レボフロキサシンは、500mgの内服薬は71円ですが、注射薬は1,854円と26倍高いです。レボフロキサシンの生体利用率は100%と良好であり、消化管吸収が問題ない症例は、経口投与を推奨します。

抗菌薬の選択や投与方法でお困りのときには、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) までご相談ください。

一覧表は、『マイツール→感染対策→  
抗菌薬関連』より PDF で参照できます。  
ぜひ、ご活用ください！

担当医師：守谷能和、原澤慶次、砂川恵伸  
担当薬剤師：志田真澄、早崎亮太、関口梨絵

#### —今月号の目次—

- ①<今月のトピック1>抗菌薬腎機能別投与法一覧の改訂・・・P1
- ②<今月のトピック2>院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルを改訂しました・・・P2・3
- ③<D I 情報>副作用報告、プレアボイド報告、採用薬変更のお知らせ・・・P4
- ④添付<今月のトピック1の追加資料>抗菌薬腎機能別投与方法

## 院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコールを改訂しました

薬物治療管理の一環として、調剤上の典型的な変更に伴う疑義照会を減らし、患者様への薬学的ケアの充実および処方医や保険薬局での負担軽減を図る目的で「院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコール」の運用を行っております。

なお、本プロトコールを適正に運用するために、プロトコールの趣旨や各項目の詳細について当院ホームページに掲載している『院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコール』をお読みいただいた上で、適切な合意のもとに実施するものといたします。

参画について問い合わせやご希望される場合は、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ窓口 マニュアル・合意書・処方修正報告書に関すること

TEL:048-296-8308 Mail ; kyoudou-dicenter9249@mcp-saitama.or.jp (薬剤DI室)

2017年に開始依頼、多くの薬局様から合意を交わさせていただきました。

今回、内容を一部見直し、『処方日数』『処方医への情報提供の方法』の下線部について加筆・修正させていただきました。既に合意文書取り交わしている保険薬局様につきましては、追加部分も含めて合意継続とさせていただきますのでご了承ください。

### 処方日数

薬歴上継続処方されている処方薬に残薬があるため、投与日数を調整（短縮）して調剤することを可能とする

例：クロピドグレル錠75mg 30日分 → 27日分（3日分残薬があるため）

マグミット錠（330） 30日分 → 1日分（次回処方もれを避けるため、削除はしない）

※定期的な服用（自己調節指示の有る薬含む）をしていたにも関わらず残薬がある場合に限る。

※服用を自己中断している場合や服用忘れが多い場合は対象外とし、直接疑義照会を行うこととする。

### 処方医への情報提供の方法

・処方箋を応需した保険薬局より後発医薬品及び一般名処方の変更調剤についてのFAX報告は不要とする（電子カルテに文書取り込みを行わない）

保険薬局で調剤した後発医薬品名と処方された医薬品の銘柄名をお薬手帳に併記すること。

厚生労働省通知①「処方せんに記載された医薬品の後発医薬品への変更について（平成24年3月5日保医発0305第12号）」

及び②「疑義解釈資料の送付について：その2、問43（平成24年4月20日事務連絡）」（※）

（※）①変更調剤の報告

保険薬局において、銘柄名処方に係る処方薬について後発医薬品（含量規格が異なるもの及び類似する別剤形のものを含む。）への変更調剤を行ったとき又は一般名処方に係る処方薬について調剤を行ったときは、調剤した薬剤の銘柄（含量規格が異なる後発医薬品を調剤した場合にあっては含量規格を、類似する別剤形の後発医薬品を調剤した場合にあっては剤形を含む。）等について、当該調剤に係る処方せんを発行した保険医療機関に情報提供すること。ただし、当該保険医療機関との間で、調剤した薬剤の銘柄等に係る情報提供の要否、方法、頻度等に関してあらかじめ合意が得られている場合は、当該合意に基づいた方法等により情報提供を行うことで差し支えない。

②一般名処方調剤報告について

カルテには、できるだけ詳しい情報を記載しておくことが望ましいと思うが、一般名を記載した処方せんを発行した場合に、実際に調剤された薬剤の銘柄等について保険薬局から情報提供があった際に、薬剤の銘柄等を改めてカルテに記載しなければならないのか。

（答）改めてカルテに記載する必要はない。発行した処方せんの内容がカルテに記載されていればよい。

### その他 確認事項

- ・薬剤FAX問い合わせ用紙

事前に疑義照会が必要な場合は薬剤FAX問い合わせ用紙を使用する。

プロトコールの最後に添付。(添付3)

ただし、薬剤科に直接問い合わせする場合はFAXは不要、直接電話で疑義照会する。

※FAXでの問い合わせ時間を一部変更しています。

平日 17 時～18 時は医事課への F A X での問い合わせではなく、薬剤科 (048-296-8308) に直接お電話にて疑義照会をお願い致します。

院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコール全文及び報告書等は当院ホームページ→メニュー→医療関係者の方へ→病院・保険薬局の薬剤師の方へ より常時出力可能です。  
ご利用ください。

## DI 情報

### 【副作用報告】 DI 委員会 1 月報告

No	薬効分類	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	抗生物質	バンコマイシン タゾピペ クリンダマイシン	腎機能障害	3	協同	可能性あり
2	抗生物質	ミノサイクリン	薬疹	2	協同	可能性あり
3	三環系抗うつ薬	トリプタノール	薬剤性肝障害 口渇	3 1	協同	可能性あり
4	糖尿病薬	エクア錠★	発疹	2	西協同	可能性あり
5	Na チャネル遮断薬	シベンゾリンコハク酸塩	発疹 掻痒	1 1	西協同	可能性あり
6	抗てんかん薬	イーケプラ錠	肝障害	2	秩父	可能性あり

### 【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】

年代	薬剤名	経過・内容・
90 歳以上	テリルジー	他院よりテリルジー処方あり。前立腺肥大症による尿閉ありナフトピジル開始。テリルジーは前立腺肥大症による排尿障害には禁忌である。排尿障害がなければ慎重投与である。COPD 症状は落ち着いている。 →抗コリンがないレルベアに変更。COPD の症状悪化しないか観察する。
80 ～ 89 歳代	ツロブテロールテープ	ツロブテロールテープを持参したが、咳痰呼吸苦なし。呼吸器、喘息の既往なし。確認したら、コロナの自粛中に咳が止まらなくなり、かかりつけに貼るように言われた。それからずっと貼付。 →症状がないため中止。
80 ～ 89 歳代	ワーファリン	ワーファリン服用中で PT-INR 安定していた方。最近、低下してきたため、食事等の変化がないかきいてみたところ『野草酵素』を飲み始めた。 1 日 1 回 2ml を 1ml に減らして飲んでいるし、緑色じゃなくて茶褐色だから大丈夫でしょ』と。ブロッコリーやホウレン草の野菜も含む食品であり、明らかに影響ある内容だったため、医師に報告し中止してもらうことになった。 →中止後、以前のように安定。

【採用薬変更のお知らせ】 (県連薬事委員会 1月報告より)

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メーカー	薬品名	薬価	メーカー	薬品名	薬価
採用	ファイザー	コミナティ筋注				
	協和キリン	オルケディア錠 1mg/2mg	279.8 円 /1mg			
	沢井製薬	アンプロキソール徐放 OD 錠 45mg「サワイ」	20.8 円			
	武田テバ	ヘパリン Na ロック用シリンジ 100 単位/mL「テバ」(10mL)	120 円 / 本			
後発品変更	大原薬品	プレガバリン OD 錠 25mg/75mg「オーハラ」	21.8 円 /25mg	ファイザー	リリカ OD 錠 25mg/75mg	65.2 円 /25mg
	沢井製薬	ジソピラミド徐放錠 150mg「SW」	14.2 円 /錠	サノファイ	リスモダン R 錠 150mg	40.6 円
	ファイザー	ジソピラミドカプセル 50mg/100mg「ファイザー」	18.2 円 /100mg	サノファイ	リスモダンカプセル 50mg/100mg	38.6 円 /100mg
剤型変更	MSD	ニューモバックス NP シリンジ	4735 円	MSD	ニューモバックス NP	4706 円
販売中止に伴う変更	三友薬品	ロキソプロフェン Na ゲル 1%「ラクール」(50g/本)	3 円/g	三友薬品	ロキソプロフェン Na ゲル 1%「ラクール」(25g/本)	3 円/g
	武田テバ	ヒドロコルチゾンコハク酸エステル Na 注射用 100/300/500/1000「武田テバ」	300 円 /100mg	武田テバ	サクシゾン 注射用 100/300/500/1000	300 円 /100mg
	参天	ピレノキシリン懸濁性点眼液 0.005%「参天」	64.9 円 / 本	参天	カリーユニ点眼液 0.005%	64.9 円 / 本
	鶴原製薬	デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩錠 15mg「ツルハラ」	5.7 円/錠	鶴原製薬	アストマリ錠 15mg	5.7 円
販売中止				エイワイファーマ	エレメンミック注キット	278 円 / 本
				サノファイ	インタール細粒 10%	58.2 円 /g
名称変更	陽進堂	リバスチグミンテープ 4.5mg/9mg/13.5mg/18mg「YD」	173.4 円 /18mg	小野薬品	リバスタッチパッチ 4.5/9/13.5/18mg	396 円 /18mg
	三笠製薬	フェルビナクスチック軟膏 3%「三笠」	6.5 円/g	三笠製薬	スミルスチック 3%	6.5 円/g
新規試用	大塚製薬工場	イノラス配合経腸用液 (ヨーグルト味、いちご味)	1.57 円 /mL			
	イーライリリー	オルミエント錠 2mg/4mg	5274.9 円/4mg			
	天藤	ボラザ G 坐剤	30.1 円/			
	MSD	シルガード 9 水性懸濁筋注シリンジ				
	ゼリア	フェインジェクト静注 500mg	6078 円			

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院薬剤科 DI室 (内線 9404) までどうぞ  
 担当 宮田・中村・山田・木村・相良